

茨城労働局初めての 「ワーク・ライフバランスに関するワークショップ」を 開催しました

〈ワークショップとは〉

研修のひとつの形ですが、いわゆる座学として一方的に聞くスタイルではなく、参加者が皆で考え発言する全員参加型の研修です。

特に今回は「カード・ブレインストーミング法」という、今人気の思考力アップ研修のひとつを取り入れたものです。

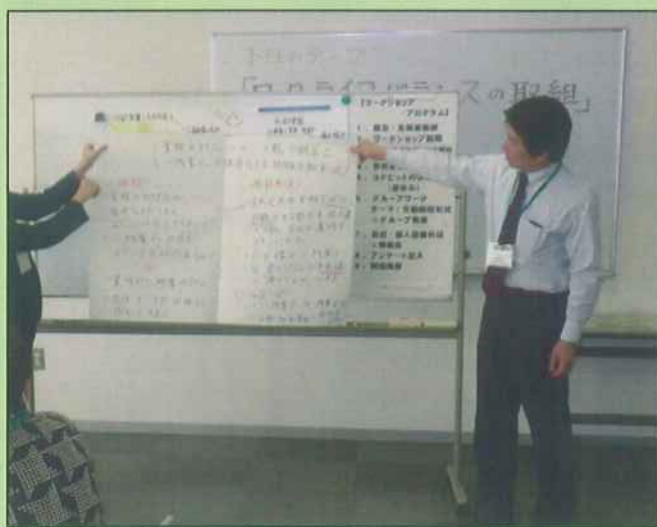
平成25年2月5日・13日の2日間、茨城労働局2階会議室において、県内の企業30社の参加を得て、ワークショップを開催しました。

業種も地域も立場もばらばらな、まさに異業種交流の場のため、最初は皆さん緊張でシンと静まりかえった中でのスタートでしたが、徐々にワークが進むにつれて、和やかな中にも真剣な討論が繰り広げられました。

特に、時間外労働や年次有給休暇といった、各社にとって切実な「ワーク・ライフバランス」をテーマとした話し合いだったために、「他社・他業種の取組を聞いたことが最大の収穫だった」という感想を多数の方からいただきました。

また、今回は、参加した方が自社の課題を挙げ、それに対する改善策を話し合う形でしたが、「早速自社に取り入れたい」という意見をいただきました。

本ワークショップでは、参加者が各企業に持ち帰り、企業内の課題を明確にして、アクションプラン（改善計画）を策定していただくこととしています。



【お知らせ】

今後もワークショップを開催する予定ですので、ご興味のある企業の方は茨城労働局労働基準部監督課（TEL029-224-6214）までお問い合わせ下さい。また、企業に出向いてのコンサルティング、ご相談も無料でお受けしておりますので、お気軽にご利用下さい。